

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	松阪市子ども・子育て会議（第 19 回）
2. 開 催 日 時	平成 30 年 9 月 20 日（木）午後 6 時 00 分から午後 8 時 00 分
3. 開 催 場 所	松阪市産業振興センター3 階研修ホール
4. 出席者氏名	<p>委員 ◎須永進、三浪綾子、亀田泰正、水谷清美、前田則生、大橋信、鈴木エリ子、高橋恵司、染谷香奈子、小林美花代、稲葉義彦、松田まゆみ、世古口茂樹、丸山竜平、岡田晴夫、小林奈美（◎会長・○副会長）</p> <p>事務局 藺部功こども局長、荒木章次こども支援課長、阪口和恵こども家庭支援担当監、松田武己こども担当主幹、大滝和則こども係主任、谷中靖彦こども未来課長、大西学課長補佐、中島由喜子保育指導担当監、西山久司子ども発達総合支援センター所長、白藤哲央健康づくり課長、青木俊夫教育総務課長、萬濃正通学校支援課長、藤武利文生涯学習課長、株式会社ぎょうせい</p>
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	0 人
7. 担 当	<p>松阪市殿町 1340 番地 1 健康福祉部こども局こども支援課 担当者：松田、大滝 電 話：0598-53-4081 F A X：0598-26-9113 e-mail：koshien.div@city.matsusaka.mie.jp</p>

事項

1. 委嘱状交付
2. 市長あいさつ
3. 松阪市子ども・子育て会議会長挨拶
4. 議事
 - (1) 子ども・子育て支援事業計画の平成 29 年度進捗状況について
 - (2) 第 2 期子ども・子育て支援事業計画のアンケート調査について
 - (3) 松阪市の子育て支援施策について
5. その他

議事録

別紙「松阪市子ども・子育て会議（第 19 回）議事録」のとおり

松阪市子ども・子育て会議(第19回)議事録

日 時:平成30年9月20日(木)18:00~20:00

場 所:産業振興センター3階研修ホール

出席委員:須永進(会長)、三浪綾子、亀田泰正、水谷清美、前田則生、大橋信、鈴木エリ子、高橋恵司、染谷香奈子、小林美花代、稲葉義彦、松田まゆみ、世古口茂樹、丸山竜平、岡田晴夫、小林奈美

欠席委員:塩谷明美(副会長)、高島清子、堤康雄

事務局:藺部功こども局長、荒木章次こども支援課長、阪口和恵こども家庭支援担当監、松田武己こども担当主幹、大滝和則こども係主任、谷中靖彦こども未来課長、大西学課長補佐、中島由喜子保育指導担当監、西山久司こども発達総合支援センター所長、白藤中央健康づくり課長、青木俊夫教育総務課長、萬濃正通学校支援課長、藤武利文生涯学習課長、株式会社ぎょうせい

配布資料:

- ・第19回松阪市子ども・子育て会議事項書
- ・松阪市子ども・子育て支援事業計画《平成29年度実績・30年度計画報告書》
- ・松阪市子ども・子育て支援事業計画策定支援業務実施要綱
- ・子育て支援に関するアンケート調査～記入にあたって～【就学前児童用】
- ・子育て支援に関するアンケート調査～記入にあたって～【就学児童用】
- ・第2期子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査における「量の見込み」の算出等の手引き対応表
- ・松阪市の子育て支援施策
- ・夕刊三重広告(2018.8.10)「子育て支援施策をご利用ください」
- ・平成30年度松阪市子ども・子育て会議委員名簿
- ・平成30年度松阪市子ども・子育て会議事務局名簿
- ・松阪市子ども・子育て会議条例
- ・松阪市立幼稚園・保育園の今後について
- ・幼稚園・保育園が変わります
- ・病児及び病後児保育事業のご案内
- ・一時預かり事業のご案内
- ・2018年度子育て応援情報
- ・まつさか子育てアプリ(まつぷり)

<開会>

1. 委嘱状交付【市長より新任委員へ】

新任委員

・幼稚園保護者代表	松阪市PTA連合会幼稚園部長	水谷 清美
・福祉団体代表	松阪市社会福祉協議会	染谷 香奈子
・公立幼稚園代表	松阪市立豊田幼稚園園長	稲葉 義彦
・公立保育園代表	松阪市立保育園長会会長	小林 美花代
・保育園保護者代表	若葉保育園保護者会会長	亀田 泰正

2. 市長挨拶【竹上市長より】

改めまして、皆様、こんばんは。天候が悪い中、お集りいただき、ありがとうございます。新委員の皆様、よろしくお願ひいたします。平成29年度より、こども局ができました。1年半経過するわけですが、組織の方もそれなりにある程度、固まってきました。何が変わったか言いますと、就学前と後で線引きをしたわけですが、例えば、教育委員会が持っていた幼稚園の部分をこども局へ、福祉部門の放課後児童クラブが教育委員会へ変更する組織改正をしました。それなりの効果も出てきました。飯南飯高地域では保育園しかないため、幼児教育を受けさせようと思うと、母が無理やり働かないと保育園に入れられない状況です。平成32年4月より、認定子ども園を作っていくと協議をしています。保育園と幼稚園が一つの部局になった効果も出てきたと思っております。

平成30年度より新しい事業をさせていただくことになりました。9月3日から子育てアプリを始めることが出来ました。スマートフォンで簡単に登録でき、プッシュ通知で予防接種などのお知らせがあります。また、病児病後児保育をもう1か所増やしまして、さらに一時預かりをしていただいている状況です。あと、平成31年4月からこども医療が変わります。0歳から6歳までの就労前で低所得の方は完全の窓口無料とし、児童手当所得制限の範囲内の方は上限1,000円を支払ってもらう制度設計に変えさせていただきます。現在、教育長と各小学校へまわってアナウンスしています。

また、保育園の入園基準も整えることが出来ました。今までですと、第1、2、3と希望を出すわけですが、第1がいっぱいですと、次に入園できるのがなかなか難しい状況になっています。きちんと点数化し、優先度が高い方からきちんと入園できる仕組みに変えさせていただきました。いろいろとやれるところから変えさせていただきます。皆様が作っていただいた計画をバージョンアップさせてながら、様々な事業着手に取り組んでいきたいと思っております。

今年度、来年度は計画の最後に向かっていくところですが、新たな計画作りを今年度から準備を始める1年でもあると思いますので、皆様方には、ご協力をいただきますようお願いいたします。長い挨拶となりましたが、皆様方には心から感謝を申し上げ、お礼のご挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございます。

3. 子ども・子育て会議会長挨拶【須永会長より】

皆さん、こんばんは。子育て支援の基盤になっているのが、事業計画も含めた総合的な取り組みだと考えております。平成 32 年度から新しい計画を立てていくわけですが、着実に履行していくことが市民の方への責務だと思います。平成 27 年から 31 年までが一つの区切りとなり、平成 32 年度から 2 期目が始まります。第 1 期の完成度を見ながら、2 期目に向かって事業計画を立てていく 2 本立てで、進めていくのがこの会議の特徴です。ぜひ、ご意見を伺って、実現可能な良いものにしていきたいと思っております。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

(市長は他の公務があり、ここで退席)

4. 議事事項

(1) 子ども・子育て支援事業計画の平成 29 年度進捗状況について

事務局より、松阪市子ども・子育て支援事業計画《平成 29 年度実績・30 年度計画報告書》をもとに説明。

(質疑応答・意見交換)

会長

「松阪市子ども・子育て支援事業計画の平成 29 年度進捗状況について」説明いただきましたが、質疑・意見等ありませんか。

委員

嬉野保健センター・子育て世代包括支援センターの取り組みを詳しく教えてください。

事務局

平成 27 年度より、健康センター「はるる」にて、子育て世代包括支援センターとして実施し、母子保健法に基づく子育ての支援をしております。今年度は、嬉野地区、三雲地区を統括させていただき、嬉野保健センターに子育て世代包括支援センターを併設させていただきました。

子育て世代包括支援センターにつきましては、子ども・子育て支援法の新制度の利用として、母子保健型として、母子保健コーディネーターを配置し、全ての妊産婦について、状況を把握した上で、妊娠期から子育て期にわたるまでの様々な相談に応じ、その状況を継続的に把握し、手厚い支援を必要とする妊産婦に対して、情報提供し、また関係機関と協力しながら、支援のプランを作成し、相談支援を行っていくということになっております。

委員

その支援について、健康センター「はるる」がスタートし、飯南・飯高地区についてもそれなりのサービスがあったが、健康センター「はるる」まで出て来ないといけないということなのでしょうか。問題が出てきたときはどうなのでしょうか。将来展望として、その地域に展開できるのでしょうか。

事務局

子育て世代包括支援センターは、母子保健コーディネーターという形で配置しています。子育ての様々な情報を把握して、対応させていただいております。飯南・飯高地区は、健康センター「はるる」で対応させていただいておりますが、飯南・飯高地区にも保健師は配置しております。緊急の場合でも対応できる体制となっております。

委員

松阪市子ども・子育て支援事業計画《平成29年度実績・30年度計画報告書》の29ページの幼稚園において、平成31年度の提供量の増減がありますが、鎌田中学校区では増えております。3歳児保育が実施するということなのか、内訳としてはどうなっているのでしょうか。3カ所で40人の増となっております。

事務局

鎌田中学校区について、実施個所数は、まつさか幼稚園、公立鎌田幼稚園、公立港幼稚園の3カ所です。人数で増えているのは、公立の鎌田幼稚園と港幼稚園で、定員25名の3歳児クラスの実施であります。5歳児クラスの定員を35名から30名に変更させていただき、5名の減となり、40人の増となっております。

会長

松阪市子ども・子育て支援事業計画の第6章のところに、計画の進行管理という項目があり、子ども・子育て会議にて、実施の状況について、点検・評価するという内容となっておりますので、こういう作業を委員の方々にお願いしているというところですか。お気づきの点、分からないところも含めて、進捗状況を見ていくということが会議の役割となっております。

特にご意見ございませんか。よろしいですか。特にないようですので、先に進めさせていただきます。

会長

議事の(2)になります。

子ども・子育て支援事業計画の第1期が終わりに近づいていますが、第2期に向かって、準備していく作業が重要な課題として残っております。第2期は、平成32年から5年間となっております。第1期を踏まえて、第2期に向かっていく形になると思いますが、事前にアンケート調査を行うこととなります。なぜ、アンケート調査が必要なのかと言いますと、地域の方からの状況を伺って、それを活かしていくことも重要な問題であります。やはり、人口動態も含めて、保育ニーズもそうですが、変化しているものですから、確実に把握して、事業計画に活かしていくことが求められています。多くの方を対象にしたアンケート調査をすることが重要です。そこで議論して、進めていくということになっております。

それでは、事務局の方から説明をしていただきたいと思います。

(2) 第2期子ども・子育て支援事業計画のアンケート調査について

事務局

松阪市では、第2期支援事業計画を本年度、来年度の2か年で作成することといたします。この作業については、前回と同様に策定業務に精通している専門業者から支援を得るために公募型プロポーザル方式にて、委託業者を決定いたしました。その業者さんにお手伝いをいただくこととなりまして、皆さまとともにこの2年間を取り組んでいただきます。

まずは、受託業者の「ぎょうせい東海支社」さんより、第2期子ども・子育て支援事業計画業務についてと、スケジュール、そして、本年度に実施いたしますアンケート調査(案)について、説明と提案をしていただきます。それでは、「ぎょうせい」さん、よろしくお願いします。

ぎょうせい

ぎょうせいより、資料の松阪市子ども・子育て支援事業計画策定支援業務実施要綱、子育て支援に関するアンケート調査～記入にあたって～【就学前児童用】、子育て支援に関するアンケート調査～記入にあたって～【就学児童用】、第2期子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査における「量の見込み」の算出等の手引き対応表をもとに説明。

(質疑応答・意見交換)

会長

必須項目は、国が定めているので、これをどうこうするのは無理なことです。検討していただきたいのは、任意項目と市独自の項目を認めていただけるかどうかが主な議論となります。

また、このようなアンケート調査がご家庭に届くわけですが、アンケートの項目が多い、かなりの量です。回答しやすいように工夫していかないと、途中で嫌になったり、意味が分からないなどは防ぐべきです。様々な対象者がいますので、そういう方たちにもきちんと回答していただくような内容のものがアンケートの基本になります。

この内容について、何か質問・意見等はありませんか。

委員

内容の確認をさせてください。アンケート調査【就学前児童用】の6ページの問16のところですが、幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)とありますが、定期的とは、どういうことなのでしょう。教えてください。

ぎょうせい

基本的には、定期的にご利用したいと考えるのであって、臨時のものではない。無償化になった場合にそれをずっと定期にご利用したいと考えるものについては、どれですかという設問になります。

事務局

一般的には、今の幼稚園で申し上げますと、基本的には 8 時半から 14 時となっており、嬉野地域の 4 園では、14 時から 16 時半までの預かり保育をしております。対象者は、仕事してみえる方で預っているのが基本です。保育園も延長保育があります。基本的には 7 時から 18 時までが最大の時間となりますが、18 時を超えると延長保育となり、延長保育料がかかります。19 時までの 1 時間です。ですので、定期的というのは別に一般の方と 14 時までの方と 14 時以降の方と区別しないといけない。そうしないと全ての方が 16 時半までみれるかということになります。

この辺りの無償化というのは、はっきりしていません。情報が入ってきません。逆にマスコミから入ってきます。12 月頃には本格的に内容は出てくるのではないかと情報をいただいております。無償の範囲もどこからどこまでかなのか。それ以外のところは、金額が発生するということもあると思われます。保育園も同様です。定期的というのはそういうことを指してくる部分があると想定しております。

委員

公立と私立では、少しイメージが違います。私立の場合は、基本的な時間のあと、子どもたちがいるという状況なので、定期的な状況というのはそういうことも含めるのでしょうか。

あまり、その辺りは私立の場合、区別がないもので、送迎バスを利用したいというのも入ってきます。その辺りも預かり保育を利用したいに入れてもいいのでしょうか。

ぎょうせい

補足をさせていただきます。アンケート調査【就学前児童用】の 5 ページの間 15-1 をご覧ください。まずは、定期的に今、利用している事業を聞いています。次に 6 ページの間 16 で無償になったら、このニーズがどれだけ増えるのかという設問をしています。この違いがあります。どのくらいこのニーズが増えるかという意図のアンケートです。それから、間 15-2 をご覧ください。現在の何日、何時間、希望として何日、何時間というのを聞いています。ですから、定期の時間から超える時間というのはニーズとして出てくる設問設計になっています。

委員

分からないことがあるので、教えてください。アンケート調査【就学前児童用】の 6 ページの間 16-2 で、特に幼稚園の利用を強く希望しますかとあるのですが、どうして幼稚園だけ強く希望するという聞き方になるのか、どういった意図があるのか教えてください。

ぎょうせい

幼稚園の場合の預かり保育ということですが、預かり保育を行う対象として、幼稚園があるという意味で合わせて利用する場合ということですが、そういう意味で幼稚園に今後、預り保育のニーズがどれだけあるのかということ把握する設問です。

委員

就学前アンケートのことです。特に保育園の場合、就労されている家庭の方が預けられるということで、その希望されている保育園に入れているかどうかという設問というのはアンケートに入っているのでしょうか。先ほど、ご報告いただいたように量としては充足されていますが、就労されている家庭にとって、希望の保育園に入っていないために仕事場と逆の方向に行ってから、職場に向かうことや入園されているお子様は複数人みえる場合、同じ保育園に入れなかった場合には複数の保育園に預けに行く、その保育園の方針によって、持ち物が違うなど負担が大きいかなと感じますが、そういった設問を入れるのはどうなのでしょう。

ぎょうせい

預っている全てのお子様にお聞きするアンケートではありません。仮に希望するところに入れているのかどうか聞いても、正確な数は難しいと思います。実態として預かっている数として、一次要望、二次要望と区分があります。ここで実態が把握できるので、その実態を見ながら、それぞれの数を確認して、必要数を把握すればいいかと思われま

委員

認定こども園については、理解できているのでしょうか。アンケートの中にも触れなくていい内容なのでしょう。

事務局

アンケート調査の 1 ページに用語の定義があり、そこで認定こども園の説明をさせていただいております。

委員

独自項目のところでは何か質問をさせていただきたいと思います。対応表の 21 ページの問 34 です。子育てに関する情報のところですが、インターネットのところに子育てアプリも入れられたらどうかと思います。また、対応表の 22 ページの問 35 です。家の近くの子どもの遊び場についてのところですが、問 5 の不衛生であるというのは、何が不衛生なのか、その遊び場自体が不衛生なのか、そこにある施設、遊具が不衛生なのかわかりづらいと思います。次の問 6 のいつも閑散としていて寂しい感じがする項目は、問 9 の環境が悪くてというところとダブっているように思えます。あと問 8 の緑などの自然が少ない項目は、緑というのは色をイメージしてしまうので、自然が少ないと書かれるなら、森や林、池などといった具体的な視点の項目を入れられたらどうかと思います。あと、対応表の 40 ページの問 40 の 1 です。事故の内容ですが、問 7 の入浴中の事故と問 8 のその他風呂での事故があるのですが、入浴中もお風呂のことで一緒のことなんです、という違いがあるのでしょうか。以上です。

ぎょうせい

問 34 のアプリのことですが、それについては入れられるように検討します。問 35 の不衛生であ

る、環境が悪くて安心して遊べない、いつも閑散としている、緑の部分については、ご意見を踏まえながら、わかりやすく修正したいと思います。あと、問 40 の 1 の入浴中の事故、その他風呂での事故については、入浴している最中のことなのか、入浴中ではなく、風呂場で何か事故があるのかということを区分しています。そこもわかりやすく表現したいと思います。

ぎようせい

ご覧になって、すぐにご意見をいただいているのですが、最終印刷するまで、もう少し時間をおいて、さらにご意見を伺った上で、個別に出していただいて、検討を進めるというのはどうでしょうか。

会長

その議論は、決着がつかない時であって、今はその議論をやっています。せっかく、ご意見を聞いている最中ですので、これは少し先の話と考えます。他にご意見等ございますでしょうか。

会長

対応表の 21 ページ問 34 のところの子ども支援研究センターというは松阪市にあるのでしょうか。

事務局

松阪市にございます。

会長

独自項目のところですが、順番に見ていきたいと思います。21 ページの問 31、32、33、34 のことですが、ご意見等ございますでしょうか。

委員

特になし

会長

対応表の 22 ページ問 35、36 のところですが、委員よりご意見があった項目ですが、他によろしいでしょうか。

委員

特になし

会長

対応表の 23 ページ問 37、38、38 の 1 のところですが、委員よりご意見があった項目ですが、他によろしいでしょうか。

委員

特になし

会長

対応表の 24 ページ問 39 から 42 のところです。委員よりご意見があった項目ですが、他によろしいでしょうか。

委員

特になし

会長

対応表の 25 ページ問 43 のところです。委員よりご意見があった項目ですが、他によろしいでしょうか。

会長

問 43 の 1 から 13 までの間は、どう選定されたでしょうか。

ぎょうせい

基本的には前回と同じものになっております。

会長

他によろしいでしょうか。このままだと先ほどのご意見を加わったもので調査に入りますが、よろしいでしょうか。

独自項目の他にはどうでしょうか。実際には、現実と計画の数字に乖離があった項目がありました。このことについて、利用したいと思うかどうかという項目にすると、多くの方がサービスを利用したいと答えます。ところが、現実を見ると、サービスを利用していない項目がいくつかあるかと思えます。その質問の仕方というのは工夫されているのでしょうか。

ぎょうせい

基本的には前回と同じものになっております。その調整が必要であれば、どこで行うのかということですが、ニーズとして出てきた数とこれまでの事業の実績がありますので、その実績と見比べて、これだけのニーズが必要だという検討は行っていきます。この会議で、乖離に対して、こういうことに見られますがどうでしょうか、目標量をどう定めましょうかと伺わせていただきたいと思います。

会長

そうしていただきたいと思います。

委員

アンケート調査【就学児童用】の5ページの間14の放課後児童クラブを利用していない理由のところではいろいろとありますが、役員をしないといけないから入れないという保護者の方がたくさんになっていきました。なかなか、こういう形でアンケートをしても、役員が嫌だから使わないという人がいるということを知っていただきたいと思います。前回、第1期のアンケートでその他にそう言った項目があって、今回も出てくるようであれば、その辺りの比較をしていただけたらと思います。

ぎょうせい

現実的にあるとは思いますが、放課後児童クラブの役員をするのが面倒だから利用しないというような設問を入れるかどうかアンケートで聞くことが適切なのか検討させていただきませんが、運営の方で、十分理解を得るように検討していくことが大事だと思います。

委員

アンケート調査に入れてくださいということではないのですが、教育委員会さんに管轄が変わりましたし、この計画を立てるにあたって、ニーズがあるかという会議ではあると思うんですが、実態のところもがんばっていただけたらと思いますのでお伝えさせていただきました。

会長

他によろしいでしょうか。全体を通してしても構いませんので、ご意見ございませんでしょうか。

委員

特になし

会長

何人かの委員の方より、提案が出てきましたので、ぜひ検討していただきたいと思います。次回、いつ示してもらえるのでしょうか。

事務局

いろいろとご意見のほど、ありがとうございました。今後、事務局の方で検討させていただきたいと思います。11月下旬から12月中旬に回収の時期とさせていただいております。いただいたご意見をもとにアンケート用紙、レイアウト含め、作成し、お示しをさせていただく中で固めていきたいと思います。また、反映したものに意見記入用紙を送付させていただきますので、見ていただけたらと思います。

会長

ぜひ、その対応をしていただきたいと思います。あとから見て、気が付いたところも含めて、入れていただきたいと思いますので、ご協力のほどよろしく申し上げます。全体を通して、これによろしいということを進めていきたいと思いますが、異論なしということによろしいでしょうか。

委員

アンケートを行うまでに、もう会議は行わないということでしょうか。

事務局

ご意見等をお伺いするものを郵送で送らせていただきますので、他にご意見があれば、事務局までご返送いただけたらと思います。

委員

アンケート内容ですが、推移を見ていく必要があるのですが、内容が変わらないのはわかりませんが、先ほど放課後児童クラブの意見があったように、普段から教育委員会が行って、そういった意見を吸い上げていく形をとっていくこともやっていかないといけないと思います。5年経過したら、どこかで変わっている部分があるので、その辺りを把握して、アンケートを行っていく形も少々、あってもいいのかなと思います。

会長

ありがとうございました。本日のアンケート項目の議論ですが、多少の修正を加えながら、市のアンケートを実施するという事で、賛同を得たということによろしいでしょうか。

全委員

特に異論なし

(3)松阪市の子育て支援施策について

事務局より、資料の松阪市の子育て支援施策をもとに説明。また、こども未来課より、松阪市立幼稚園・保育園の今後について(飯南・飯高地域の認定子ども園の実施、公立幼稚園 3 歳児保育の全園実施、公立幼稚園の 3 歳児の給食の全園実施等について)を説明。

会長

「松阪市の子育て支援施策」について、説明がありましたが、これらの件につきまして委員の皆さんから、質問や意見等、ありませんか。

よろしいでしょうか。ご意見等ないようでしたら、その他の項目で、事務局のほうで何かありますか。

5.その他

子育て支援施策につきましては、市長と教育長が市内 36 小学校へ行きまして、PTAの皆様と意見交換会をしている時に資料として、市長が説明しているものでございます。来年度におきましては、幼稚園・保育園の保護者の皆様との市長と意見交換会をするということで決定しておりますので、報告させていただきます。

第 2 期のアンケート調査ですが、また、皆様の方からご意見を頂戴したい思いますので、事務

局から通知文を発送していただきたいと思います。そのご意見をいただいたものを固めて、ご提示させていただき、その上で、11月下旬から12月中旬までにアンケート発送・回収を予定しております。2月中旬から3月上旬頃に子ども・子育て会議を開催させていただき、アンケート結果の報告をさせていただければと思います。

また、平成31年度にはアンケート結果をもとに事業計画の策定作業を進めることになるため、具体的スケジュールをお示しできればと考えております。よろしくお願いいたします。

会長

本日、予定していた事項については、全て終わったということになります。次回は、2月から3月にかけて、次の会議があるということです。事項書にそって、進めてまいりましたが、それぞれの意見を含めて、また活かしていきたいと考えております。長時間、ありがとうございました。次回もよろしくお願いいたします。これで会議を終わります。

<閉会>